

株主との対話の推進と開示について

当社は、『株主・投資家の皆様との円滑な対話を推進し、適切で透明性の高い情報開示を行うこと』を基本方針としております。具体的な行動指針は以下の通りです。

1. 透明性と公正性の確保

当社は、事業や財務状況に関する情報を透明かつ公正に開示し、株主・投資家の皆様が正確な情報を得られる環境を構築します。

2. 定期的かつ適時な開示

当社は、定期的な財務報告書や事業の進捗状況など、重要な情報を適切なタイミングで開示します。

3. 株主総会およびIRイベントの活用

当社は、株主総会や投資家向けのイベントを通じて、株主・投資家の皆様との対話を促進します。定期的なIR（投資家関係）イベントを通じて、経営陣との対話の場を提供し、質問や疑問に対応します。

4. コーポレート・ガバナンスの向上

当社は、適切なコーポレート・ガバナンスに基づき、企業の運営を透明かつ責任あるものとすることで、株主・投資家の皆様との信頼を維持・向上させます。

5. フィードバックの積極的な受け入れ

当社は、株主・投資家の皆様からのフィードバックを重視し、建設的な意見や提案に対して開かれた姿勢で受け入れます。これにより、企業と投資家の皆様との協力関係を築きます。

当社は、これらの基本方針、及び行動指針に基づき、株主・投資家の皆様との信頼関係を築き上げ、企業価値の向上に努めてまいります。

株主との対話の推進と開示について

■対話イベント等の実施実績（2023年1月～2023年12月）

対話イベント等の名称	回数（／年）	実施時期
決算説明会	2回	2月、8月
定時株主総会	1回	3月
機関投資家・アナリストとの面談	57回	随時
個人投資家向け説明会（名証IRエキスポ2023）	1回（2日間）	9月
個人投資家からの個別対話	38回	随時
株主通信の発行	2回	3月、9月

株主との対話の推進と開示について

■株主・機関投資家との主な対話内容

	内容
株主と対話の主な対応者	代表取締役社長を中心に取締役及びIR担当の対応による個別の面談
対話を行った株主の概要	国内外（主に国内）57件 対応者の担当分野：アナリスト・ファンドマネージャー等
対話の主なテーマや関心事項	業績に対するの評価、事業状況、市場・業界状況、新規事業、成長戦略、資本政策、株主還元 ・情報サービス事業について Google等クラウドサービス関連事業の伸長、シェア、今後の成長 商品販売の伸長要因 不採算案件発生の際の経緯、状況 ・収納代行サービス事業 セグメントの利益率の推移 ・採用、人件費等 ・Challenge1000の状況、来期への見通し、M&Aの考え方
対話により取り入れた事項	四半期毎に比較されていることが多く、説明用の資料を変更

株主との対話の推進と開示について

■個人投資家との主な対話内容

個人投資家向け説明会、個人投資家との個別対話における主な内容は以下の通りです。

分類	内容
業績全般	<ul style="list-style-type: none">・ セグメント別、サービスの業績・ 業績が伸びた理由、伸びなかった理由・ 業界におけるシェア・ 今後の見通し
経営・事業戦略	<ul style="list-style-type: none">・ 中長期計画の内容、達成施策・ 当社の強み、特徴
体制	<ul style="list-style-type: none">・ 人材確保施策
株価	<ul style="list-style-type: none">・ 配当性向の向上施策・ 株主優待の継続

株主との対話の推進と開示について

■ 経営陣へのフィードバックの状況

当社は、株主・投資家の皆様との対話を積極的に奨励し、透明性と信頼性のある情報開示を大切にしています。株主・投資家の皆様からのご意見・ご要望等は、我々の経営方針の進化に寄与する重要な要素としてとらえ、定期的に経営陣へフィードバックを実施しています。